

2019年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（2月13日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の <請求先>	申請書類の <提出先>	提出期限
一般財団法人ナガワひまわり財団	次の①～④の条件を満たす者 ①日本国内の大学・大学院修士課程・博士課程に在学する者 ②出願する年度の4月現在、学部(2～4年)、大学院修士課程・博士後期課程に在学する者 ③2020年4月1日時点で、原則として学部生は満23歳以下、大学院生は満28歳以下 ④成績要件及び収入要件は以下のとおりとする (成績要件)原則、前年度までの成績(GPA)が、3.00以上の者 (収入要件)収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭の事情などを全て考慮するが、目安となる家計収入の上限は、給与収入世帯の場合は、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他収入400万円未満とする	可	学部(2年～4年) 大学院(修士課程) 大学院(博士後期課程)	月額 3万円	給付	35名程度	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4/1～4/22 (16時厳守)
公益財団法人 東ソー奨学会	学費の支弁が困難と認められる大学院生(修士、博士前期、博士後期)及び学部3、4年生で、品行方正、学術優秀、身体強健な者。	記載なし	大学院生(修士、博士前期、博士後期) 学部3、4年生	学部生 月額 3万円 大学院生 月額 5万円	貸与 (無利子)	20名	大学 (学生支援チーム)	東ソー奨学会事務局 (4/6までに学生支援チームへ推薦書作成を依頼すること)	4月17日 (応募書類必着)
公益信託 松尾金蔵記念奨学基金	大学院において文学、哲学、宗教学、美学、美術史、言語学、人文地理学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会学)を学ぶ、令和2年4月現在における修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)1年次の学生(留学生を除く)で、次の各号に該当すると認められる者。 ①修士課程の応募者:家族の家計を支えるものの前年度収入が原則800万円(税込総収入)以下とする(本人が独立生計の場合も同様)。 博士課程の応募者:本人の前年度収入が原則250万円(税込総収入)以下とする。 ②原則としてほかの奨学金(日本学生支援機構等の貸与型も含む)を受給していない者。他の奨学金との併願は可とするが、当基金で採択された場合はどちらか一つを選択のこと。 ③品行方正、健康で学業成績が優秀な者。 ④令和2年4月1日現在、30歳以下の者。	不可	令和2年4月1日時点で 修士課程(博士前期課程) 博士課程(博士後期課程) の1年生	年額 100万円	給付	本学からの推薦枠 修士課程から1名 博士課程から1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月13日 (16時厳守)
2020年度 公益財団法人 キーエンス財団	次の①～④の条件を満たす者 ①日本国内の4年制大学に2020年4月入学の新1年生 ②2020年4月1日現在、20歳以下である ③日本国籍を有している ④経済的な支援を必要とする	可 (貸与) 不可 (給付) *但し海外留学支援の奨学金は可 授業料減免制度又は実質的に授業料減免に相当する給付型奨学金: 併用可	2020年4月入学の 新1年生	8万円 (年額96万円)	給付	全国で500名程度	キーエンス財団奨学金	キーエンス財団奨学金	2月3日～ 4月10日 財団HP上にて必要事項を登録(入力)
2020年度 公益財団法人 キーエンス財団 「がんばれ!日本の大学生」 応援給付金	次の①～⑥の条件を満たす者 ①日本国内の4年制大学に在籍する大学生であること (但し、2020年度4月入学の新1年生を除く) ②2020年4月1日現在、23歳以下であること ③日本国籍を有していること ④最短修業年限にて卒業の見込みがあること ⑤勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生であること ⑥当財団の奨学生でないこと	可	令和2年4月1日時点で 学部2・3・4年生	給付金額 30万円	給付	全国で 1,000名程度	がんばれ!日本の大学生	がんばれ!日本の大学生	3月9日～ 5月11日 財団HP上にて必要事項を登録(入力)
公益財団法人 日本通運育英会 2020年度奨学生	学術優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な者	記載なし	令和2年4月1日時点で 学部1・2年生	3万円	貸与 (無利子)	全国で30名	大学 (学生支援チーム)	日本通運育英会 (4/3までに大学に推薦書作成を依頼すること)	4月1日～ 4月20日 (応募書類必着)

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の 〈請求先〉	申請書類の 〈提出先〉	提出期限
公益財団法人 服部国際奨学財団	次の①～③の条件を満たす者 ①日本国の大学及び大学院に在学する正規学生である日本人学生のうち学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学費の支弁が困難と認められる者 ②他の機関から、大学学部生、大学院生ともに給付、貸与に関わらず月額100,000円以上の金額の奨学金を受けていない者 ③年齢基準(2020年4月2日現在) 学部生:(26歳未満) 修士課程(30歳未満) 博士課程(40歳未満)	可 (ただし、給付、貸与に関わらず10万円を超えない範囲で)	学部生・大学院生 学部生:(26歳未満) 修士課程(30歳未満) 博士課程(40歳未満) (2020年4月2日現在)	月額 10万円	給付	1名 (学部生、大学院問わず)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	2月28日 (16時厳守)
和歌山県中核産業人材確保強化のための奨学金返還に係る助成制度	①2021年3月卒業予定者の学生(大学3年生、大学院1年生等)で理工系、情報系、農学系、薬学系の学部・に在籍する方 ②和歌山県内の製造業、情報通信業の企業へ就職を希望する方 ③独立行政法人日本学生支援機構奨学金(第一種、または第二種)、その他貸与型奨学金の貸与を受けている方	返還支援	大学4年生の者 大学院2年生の者。 (令和2年4月1日時点)	大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、最大100万円を助成 *参画企業に就職し3年勤務した後に助成	返還支援	40名程度	和歌山返還助成制度	和歌山返還助成制度	3月13日 応募書類必着
公益財団法人 尚志社	次の①～⑤の条件を満たす者。 ①成績基準 学部生・修士1年:本人の属する学部(科)の上位10%以内 博士1年:大学及び大学院における成績が特に優れていること。 ②年齢基準(2020年4月2日現在) 学部4年:26歳未満(学部5年は27歳未満) 修士1年(30歳未満) 博士1年(35歳未満) ③奨学生選考委員会による面接を必ず受けることができること。 ④奨学金受給期間中は当財団が定期的実施する社友懇話会(年1回)に必ず出席すること。また、受給期間終了後もできるだけ参加すること。 ⑤受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)機関誌「尚志」に必ず寄稿すること。	不可 (日本学生支援機構の貸与型奨学金を除く)	医学部医学、大学院医学系研究科(看護学専攻を除く)に在学する日本人であって、次の学年(受給開始時)の者とする。 学部生 6年生学科の4年又は5年 大学院生 修士課程(博士前期課程)1年 博士課程(博士後期課程)1年 (令和2年4月1日時点)	入学金:大学院生のみ実費(上限30万円) 授業料・他正規納入金額:学部・大学院共に実費(上限100万円) 書籍及び下宿補助(月額) 4年自宅生 3万円 4年下宿生 4万円 5年～修士自宅生 4万円 5年～修士下宿生 5万円 博士自宅生 5万円 博士下宿生 6万円	給付	1名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月1日 (16時厳守)
一般社団法人 エス・シー・ビー育英会	①2020年4月1日現在、大学院第1学年に在学していること ②原則として化学に関する研究内容を専攻していること(応用化学、物質科学、天然物化学、材料科学、電気物理物質学、生物学、薬学、農芸化学等) ③学業優秀、品行方正、明朗闊達な者 ④学長、学部長または指導教員等の推薦があること ⑤日本国籍を有すること ⑥他の奨学団体からの給付については条件なし	可	大学院博士前期課程1年生 (令和2年4月1日時点)	月額 5万円	貸与	当校からの推薦枠は若干名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月24日 (16時厳守)
令和2年度奨学生 公益財団法人シマノ財団	①学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況報告ができる者(交流会は9月中頃を予定) ③他奨学金との併給は差支えない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生 ※原則として継続応募はできません。	可 (ただし合計額が10万円を超えない範囲で)	工学部の2年生及び3年生 (令和2年4月末時点)	月額 2万5千円	給付	三重大学の推薦枠 2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月10日 (16時厳守)
令和元年度 山梨県ものづくり人材就業支援事業 (奨学金返還支援事業)	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれに準ずる学部、研究科等(以下「大学等」という。)に在学し、次の各号の全てに該当する学生 (1)独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けていること。 (2)令和元年度卒業予定者については令和2年9月末までに、令和2年度卒業予定者については令和3年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 (3)令和元年度卒業予定者については令和2年4月初日を、令和2年度卒業予定者については令和3年4月初日を起点とした10年間のうち、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和元年度中に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者)	大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする	返還支援	令和元年度卒業予定者 20名 令和2年度卒業予定者 35名	大学 (学生支援チーム ①番窓口)	山梨県産業労働部 ホームページ(リンク)	10月1日～ 2月28日 (応募書類必着) ※募集定員に達した時点で募集は締切ます。
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除制度あり)	記載なし	津生協病院 ホームページ(リンク)	津生協病院 ホームページ(リンク)	随時

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2020年5月11日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)